

第53回 運営推進会議

日時：令和8年6月24
日（水）14：00～15：00

輝ららのさんぽ道

グループホーム・看護小規模多機能ホーム

議事

1. 管理者挨拶
2. 運営推進委員の紹介
3. 利用者状況の報告
4. 活動報告
5. 意見交換会

1. 管理者挨拶

事業終了と新体制：6月末日をもって看護小規模多機能型居宅介護を廃止・閉鎖する。現在利用者は1名のみ残っており、最後まで手厚く支援を行う。

人員状況：事業転換に伴い、数名の職員が6月末で退職予定であり、有給消化等で徐々に人員が減少している状況である。

2. 運営推進委員の紹介

益田市高齢者福祉課	1名
G H ご利用者ご家族様代表	1名
地域代表	2名

3. 利用者様状況の報告

・利用者状況

グループホーム

令和8年6月20日現在

性別	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性					1名		1名
女性		1名	1名	3名	1名	2名	8名
計		1名	1名	3名	2名	2名	9名

平均要介護度：3.3

平均年齢：90.33歳

グループホーム（4/20～6/20まで）

ヒヤリハット（1件）

・センサーが作動していなかった 1件

事故報告（10件）

- ・毛布が足に絡みつき転倒 1件
- ・移動時に膝折れした 1件
- ・手引き歩行中にバランスを崩し職員と一緒に転倒 1件
- ・ベッドの下に転落 2件
- ・自席の下に落薬しているのを発見 2件
- ・洗面台の近くで転倒（救急搬送） 1件 → 骨折等無く戻って来られる
- ・トイレ内で立たれて転倒 1件
- ・起床時薬の飲み忘れ 1件 → 翌日服薬して頂く

洗面台付近での転倒1件については救急搬送されたが、骨折等の異常はなく無事帰設した。施設内が畳であるため重傷化を防げている面もあるが、職員の手薄な時間帯（夜間・早朝）に事故が多発する傾向があるため、引き続き環境整備に努める。

4. 事業所活動について

・活動報告

イベント・外出:

母の日にAIで作成した画像と花のプレゼントを実施。天気の良い日にはウッドデッキでお茶会を行い、はま寿司やコメダ珈琲への外出、ドライブ等も活発に行っている。

日常の役割:

じゃがいもの皮むきや水やりなど、利用者ができることを「役割」として担っていただいている。

実習生の受け入れ:

現在、看護学生や中高生の実習や職場体験など多数受け入れており、若い世代への介護職の魅力発信に努めている。

・看多機の状況説明

移行状況（5月時点登録11名）:

小規模多機能型居宅介護へ6名、居宅介護支援（ケアマネジャー）へ5名が移行。施設入所はゼロであった。移行先の調整は他事業所の協力により概ねスムーズに完了している。

終了（廃止）の主な要因:

利用者の二極化（非常に元気な方と、施設入所を希望する重度の方）により、在宅で看多機を利用する層が伸び悩んだ。

通常の小規模多機能に比べ利用料が高額であるため、ご家族が敬遠する傾向があった。施設内ケアマネジャーの業務負担（在宅・施設・福祉用具等の多岐にわたる調整）が過大であったことが挙げられた。

・今後について

新事業所の概要:

8月1日より、現在の施設にて「きららのさんぽ道 花のある家」としてデイサービス（定員12名）を開始する。同法人（株式会社サンフラワーズから有限会社高村へ統合予定）の中吉田にある事業所「中吉田邸」が手狭なため、こちらへ移転・統合する形となる。

サービスの特徴: 保険外サービスとしての「宿泊（お泊まり）」が可能であり、急な対応ができる。広々とした環境で、グループホーム利用者との交流も図っていく。

5. 意見交換

地域代表の方から、地域の移動支援事業（安田地区で実施している500円/30分の送迎・通院支援等）や、民間介護タクシーの増加傾向等について情報提供があり、意見交換が行われた。

ボランティアの方より「職員が利用者の些細な変化（おにぎりを食べられた等）を皆で喜び合う姿が温かく、感動した」との声が寄せられた。

次回の予定 8月26日(水)14:00～(案)